

ネクスト Next *in Iwate*

Company
Newsletter

Vol.7



エネルギーを
次へ繋ごう。



Next ネクスト in Iwate

「民話の里から まだ見ぬ世界へ」 こども本の森 遠野

かつて呉服屋だった旧三田屋は、築およそ120年の明治期の町屋。その大きなショーウィンドウは、四季折々のしつらえで彩られていました。1909年に初めて遠野を訪れた柳田國男も店の前で足を止めたかもしれません。

時は流れ、壁いっぱいにはたくさんの本が並んだ空間には、熱心に、真剣に、本を読んでいる子どもたちの姿。「遠野物語」を巡る、民間信仰や民話の本はもちろん、まだ見たことのない世界が、本の中から広がってゆきます。

「ここで本をいっぱい読んで、一人ひとりが胸に芽生えた興味や夢を、大きく育ててくれますように」生まれ変わった町屋は、子どもたちを優しく包みながらそんな夢を見ている。



Contents

- 3 高橋重機(株)アポロステーション平館SS
田村 俊彦 さん
- 6 北上金ヶ崎インターSS エネクスフリースト(株)
四戸 英樹 さん
- 9 伊藤忠エネクス
ホームライフ東北株式会社 岩手支店
松岡 かわり さん
佐々木 幸枝 さん
高橋 美香 さん
- 4 エネオス黄海SS(南)千葉油店
千田 健治 さん
- 8 伊藤忠エネクス
ホームライフ東北株式会社 岩手支店
春木場 将永 さん
菊池 康幸 さん
- 5 北上ガス株式会社
伊藤 裕 さん

📍 Next(ネクスト) 発行によせて

日々の暮らしのライフラインで、東北の人々の生活を支える伊藤忠エネクスグループ。そこで働く仲間たちのエネルギー、地域の素晴らしさを伝え、心を繋ぐ情報誌を目指してお届けします。



Interview 1

「ハロウ安比校」開校で外国人のお客様も。より良い接客のために英語の勉強も必要かな、と従業員と話しています。

高橋重機株式会社アポロステーション平館SS
〒028-7405 岩手県八幡平市平館 25 地割 125 番地 4
TEL.0195-68-7778 FAX.0195-68-7774

所長 田村 俊彦 さん



地域の環境や時代の変化に合わせて車のすべてを任せてもらえる店に

経営母体の高橋重機の本業は土木業や建築業。重機の整備工場から転職し、スタンドに勤めて30年になります。岩手山や十和田八幡平国立公園に近く、公共交通機関があまり便利ではない土地柄、生活に車が欠かせない環境なので、車の不具合を修理した時などにいただくお客様の「助かりました」の一言が励みになっています。

スタッフは20代前半から40代まで幅広く、真面目に頑張ってくれています。今年8月に全寮制のインターナショナルスクールが安比高原に開校しました。そのためか外国人のお客様が増え、英語の勉強も必要なのかと従業員と話しています。車の燃料が電気に変わっても車はなくならないと思いますので、時代に合った店舗づくりをしていきたいですね。

会話が絶えない楽しい家族 その温かさが日々の原動力

スタンドは年中無休で、私は日曜日を休みにしていますが、米農家なので特に夏場は毎週農作業に追われていました。特に草刈りが大変ですが、米づくりは肥料の入れ方、水や温度の管理、気候で全然出来が違ってきますので、毎年1年生のつもりで取り組んでいます。

子どもが4人の6人家族。上のふたりは社会人ですが、家に帰るとみんな学校や職場の出来事をいろいろ話すのでとても賑やかで、何よりもそれが私のエネルギーになっています。若い社員たちにも「自分たちでガンガンやれ」と言っていますが、私も負けずにまだまだ元気に頑張りたいと思います。



エネオス黄海SS南千葉油店
〒029-3311 岩手県一関市藤沢町黄海字中田 178
TEL.0191-63-2040 FAX.0191-63-2049

所長 千田 健治 さん

町の変遷を見つめて35年 地域の人たちが集う憩いの場所

ここ藤沢町は、2011年に一関市と合併しました。近くに岩手サファリパークや館ヶ森アーク牧場などの観光地がありますが、スタンドのお客様はほぼ地元の方々です。ここに勤めて35年になります。毎日仕事をしながら地域の移り変わりを見てみると、歩道や建物が出来たり景色もだいぶん変わったことに気づきます。

営業は朝7時から。農業に携わっている人が多いので、早い人は7時から来店されます。常連さんたちは個性的で面白い人が多く、様々な地域の情報を持って来てくれます。スタッフは事務員さんも含めて3人だけです。所長とはいつでもスタンドの作業や灯油の配達などすべての仕事に関わっています。これからの冬場は忙しくなりますね。

「ここには縄文人がたくさんいる。」 岡本太郎も絶賛した藤沢野焼祭

奥さんが豆腐屋を営んでおり、休日は農業で大豆を作っています。実家が豆腐屋だったのでその機械があり、奥さんが4年前に会社を辞めた時に始めました。店舗販売ではなく道の駅などに卸しています。アーク牧場のイベントや今年から地域で始まった朝市に出店する時は、私も手伝いに行きます。一緒にイベントに出るのは楽しいですね。

藤沢町といえば、土と炎の祭典「藤沢野焼祭」が有名です。中学生が縄文人に扮してマイギリ式で火を熾し、出品された約千点の縄文土器を焼き上げます。芸術家の岡本太郎さんにも「ここには縄文人がたくさんいる。」と絶賛されました。私はそれにも田楽の販売で駆け出されています。ぜひ野焼祭とうちの田楽を楽しみに来ててください。



Interview 2

今年から始まった朝市。 個性的な常連さんが揃った町は 時代の変化に合わせて活発に活動中!





Interview 3

先輩から技術を学び、必要な資格も取得しましたが、さらに良い仕事をするために技術を磨いていきます。



北上ガス株式会社

〒024-0084 岩手県北上市さくら通り 3-1-25
TEL.0197-64-1255 FAX.0197-64-2323

営業 伊藤 裕さん

お客様の快適な暮らしのために常に貢献出来るスキルアップを

入社して7年、ガスを始め住宅設備機器の営業、工事・修理、冬場には灯油配達などを担当しています。技術職の先輩から仕事を学びました。お客様の年齢層が高いので、訪問すると電球の交換などちょっとした困りごとを頼まれることもあります。今年の5月に「お湯が出なくなって給湯器を買い替えたい」というお客様がいらしたのですが、コロナの影響で入荷まで約3ヶ月かかりました。その間仮設供給で凌いでいただきましたが、無事交換出来た時は「本当に助かった」と感謝されました。

この度、電気工事士の資格を取得し、必要な資格試験の勉強はひと段落しました。また取りたい資格が見つかったらチャレンジして、より良い仕事に繋げていければと思います。

四季の変化を楽しみながら子どもたちの成長を見守りたい

ここ北上市は四季折々の季節感が感じられる街です。春は展勝地で花見、夏は「北上・みちのく芸能まつり」、秋は紅葉、冬は雪まつりやウインタースポーツ。夏油高原は最高のパウダースノーが楽しめますし、鬼剣舞は「風流踊」としてユネスコ無形文化遺産に登録されるそうです。

年長と年少の娘がおり、年長のほうが保育園で今年のみちのく芸能まつりで鬼剣舞を舞いました。昔は何とも思いませんでしたが、大人になると地元の良さを感じますね。家族でドライブや、先日は宮沢賢治ゆかりの種山高原にデイキャンプに出掛けました。家族の笑顔が一番元気を貰えますし、趣味のバイクや写真撮影の時間も充実させつつ頑張りたいと思います。



Interview 4

新しい事業に取り組む
伊藤忠エネクスグループが発信する
情報から学び さらに自分の幅を広げ、
成長していきたい。

北上金ヶ崎インターSSエネクスフリード㈱

〒024-0051 岩手県北上市相去町和田 127
TEL.0197-67-6025 FAX.0197-67-6035

店長 四戸 英樹さん

同世代のスタッフとともにお客様のニーズに合ったサービスを

今年4月に宮城県大崎市の店舗から北上に異動しました。地元八戸市のアルバイトから始めて約16年になります。この店舗は給油のほかに車販や保険などひと通りの業務を展開しています。イチオシは洗車のサブスク。特に下部洗浄も出来るコースは、冬場の融雪剤を落とせるとお客様に好評です。このサービスは県内ではまだ2店舗しか実施していません。

会社として新しい事業にチャレンジし、それを現場でも幅広く展開させていただいています。車のオークションに参加したり、工業地帯が近いのでトラックの買取業務にも現場で携わっています。スタッフは30代が中心で、考え方も新しく積極的に意見を出してくれるので、とても頼もしく思います。



頼れる家族に支えられてさらに新しいことにチャレンジしたい

奥さんは姉さん女房タイプ。大崎市に単身赴任する時も「こっちはしっかりやっておくから、頑張ってこい」と送り出してくれました。東北新幹線があるので帰りやすいですし、マメに連絡を取っています。コロナ前は年に1回家族旅行をしていたのですが、落ち着いたらまた行きたいですし、高校1年の娘が成人するまでに家族で海外に行きたいと話しています。

自分で望んで県外の店舗に出ましたし、これからも様々な店舗を見てみたいと思います。福島の本宮市に建設する予定の水素ステーションに興味があり、高压ガス製造保安責任者の資格を取るなどして、自分がそれに参画する候補として名前が挙がるようアピールしていきたいと思っています。





ネクスト Next in Iwate

快適な暮らしを守るために。

石川啄木、野村胡堂に宮沢賢治、

現代なら高橋克彦、平谷美樹に くだうれいん。

岩手から数多くの優れた作家が生まれているのは

文学的な土壌が豊かなのはもちろん、

寒くて長い冬の間、じっくり自分と対話出来るからかもしれません。

手もとを照らす灯りを絶やすことなく、お部屋をいつも温かく。

そんな毎日を守ることが、私たちの仕事です。

伊藤忠エネクスホームライフ東北株式会社 岩手支店

〒020-0638 岩手県滝沢市土沢 87 番地 2
TEL.019-684-1234 FAX.019-684-1259



Interview 5

長い現場経験から身に付けた技術と接客力

若い世代へ惜しみなく伝え、吸収し、育って行って貰いたい。



営業課 菊池 康幸 さん

「お困りのことはありませんか？」 丁寧な訪問が次の仕事に繋がる

物産石油瓦スの時代から勤めて37年になります。器具の設置のほかに、お風呂などのリノベーションやリフォームに携わっています。社歴が長いせいか、ご指名をいただくことも多くありがたいですね。電気・ガス・水道すべての資格を持っていますから、お客様からすれば何かお困りのことがある時に、痒いところに手が届く感じで指名いただけるのかと思います。

何代にも渡ってお付き合いしているお客様も多いので、口コミでご兄弟や親戚の方に紹介していただけることもあります。日々の仕事は予定が組まれています、そのスキマ時間を使って自分が以前作業をしたお客様のところに顔を出すことが、次の仕事に繋がっていきます。

自宅は花巻市で、約40分かけて通勤しています。花巻駅から約10分ほどのところで農業をやっており、11月はリンゴの時期。リンゴ畑にいと土日はSL銀河の汽笛が聞こえてきてのどかなところ。SL銀河は、2023年の春で運行が終了してしまうので残念ですね。コロナ前は家族や仕事仲間と一緒にあちこち海外旅行をしていました。また再開できるよう、健康でいたいと思います。



営業課 春木場 将永 さん

価格だけでは競争の出来ない 技術や人の繋がりを大切に

物産石油瓦スの時代から約34年間この業界におり、岩手支店では私が一番年長者です。再雇用で修理、ガスの保安関係の一部、住宅設備関係の設置・施工まで担当しています。以前の会社が自社販売・修理・施工までを目指しており、そのレベルの技術力を付ければ一人前の社員という環境でしたので、その知識を日々の仕事に生かしています。この年齢になっても取り組んでみて気づくことは多いので、積極的にトライしていきます。

機械は10年に一度など交換サイクルがあるわけですが、その時に私どもの会社にご用命がかかるのはありがたいことだと思っています。物販の部分だけで言えば、量販店やネット通販との価格競争になってしまいます。価格だけの競争ではない部分に対して、お客様との繋がりを大事にしていけないと、交替時にお客様が離れていくということを日々実感しています。

自宅は隣の雫石町。小岩井農場や温泉、スキー場など観光地が揃っているのですが、住むのにも良い環境です。地元がやっぱりいいですね。

Interview 6

会社の様々な変遷を経て、机を並べている仲間たち。
力を合わせて岩手の冬の暮らしを支えています。



伊藤忠エネクスホームライフ東北では、東北5拠点のお客様からの電話をインターネット回線に集約し、
全ての拠点で、全地域のお客さまから電話を受けられる仕組みを構築し、運用しています。

10センター 松岡 かおり さん

日々の業務に追われながらも、
家に帰れば猫に癒されています。

私は(有)小原喜太郎商店からの合流組で、仕入メインで仕事をしています。電話の取次ぎもそうですが、岩手支店はこの5月頃から仕事の担当がいろいろと変わっています。本社からこちらに業務を任せられることも増えており、それを一生懸命追いかけている感じです。電話に関してはわからないことも多いので、情報を共有したり、全支社分を把握するのが大変なので資料を見ながら対応しています。それでも地元ですから、岩手の言葉は聞き取りやすいと思っています。コロナもあり、なかなか3人で呑みに行ったりも出来ませんが、仕事が落ち着いたら行こうね!と話しています。

会社の近くに、チャグチャグ馬コの出発地点である鬼越蒼前神社があります。また8月1~4日は盛岡さんさ踊りがありますが、どちらも華やかなお祭りなので、見に来ていただきたいですね。家族は母と猫一匹。猫は癒しになりますね。仕事をしているうちは難しいですが、将来は保護猫のボランティアやお手伝いに関わりたいと思っています。



10センター 佐々木 幸枝 さん

締め切りに向けて全力投球
東北の多様性を日々実感しています

私は直売担当でお客様と直接やり取りしながら、入金に関することをメインに担当しています。また、今、全支店の電話も順番に取っているのですが、他県の営業所宛での電話を取ったらまったく聞き取れないことがありました。幸い顧客情報はわかりましたのでその支店に取り次ぎましたが、同じ東北でも言葉は違うものですね。これまでとは違った忙しさもあり、今はとにかく仕事をこなすべく頑張っています。

一人暮らしなので、休日は仕事の疲れを癒すため、ゆっくり休養しているのですが、年々筋力が落ちているのか重いものが持てないので、筋トレの必要性を感じています。灯油はもちろん車で買いに行きますが、2階に運ばなければいけませんし、お米やタイヤも重く感じるようになってきました。暮らしに必要な筋力を付けなければならないお年頃ですね。同様に老後の資金の必要性も感じるので、今年から貯金を始めようと思っています。そのためにもこれからの繁忙期を乗り切ります。



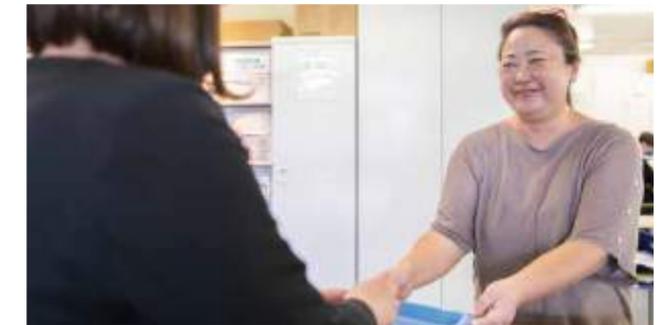
10センター 高橋 美香 さん

休日は息子たちの部活の追っかけ。
仕事と家庭に全力投球の毎日です。

私は直売の中でもガスがメインです。家から近いからと当時の会社にパートで入社し、正社員になってトータルで16年くらいになります。私は家の事情で残業はせず、ほぼ定時で帰っていますが、業務も増えてきたので追いつくのが大変です。早く状況が少し落ち着いて、新しい仕事ともじっくり向き合いたいですね。

滝沢市は「滝沢スイカ」が特産品です。私たちが子どもの頃は、小学校の前がすいか畑で、農家の方が「もってげ」なんて分けてくれました。スイカ柄のガスタンクが滝沢市のランドマークになっています。盛岡から滝沢へ走る高速道路からも左手に見ることが出来ます。

うちは6人家族で、2人の息子はそれぞれ違う高校でソフトテニス部に入っています。その遠征の付き添いがあるため、土日が休みですがほぼ家事と息子たちの送迎です。頑張っている姿を見ると私もエネルギーを貰えますね。将来は、子どもたちにはそれぞれ自分の人生を歩いて貰って、私は近くに住んでいる兄弟姉妹たちと豪華なキャンピングカーで旅行して歩きたいですね。



／ 教えます！ ／

地元の伝統・文化

Local Traditional Culture



チャグチャグ 馬コ

6月の第2土曜日に行われる岩手の初夏の風物詩「チャグチャグ馬コ」は、農耕馬に感謝する200年以上の歴史がある伝統行事。華やかな衣装で着飾った100頭ほどの馬と馬主が、滝沢市にある鬼越蒼前神社で参拝し、盛岡八幡宮までの約14kmの道を行進します。

その鈴の音は環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選ばれました。今年の9月にはフランスに招待されシャンゼリゼ通りを歩き、馬を大切にするフランスの人たちにも、岩手の馬事文化を代表する祭りの心が伝わりました。